

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 29 日

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 予算科目, 事業区分, 担当, 所属課, 事業期間. Includes details for '広域行政の推進' and '合併建設計画事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the association and activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for years (27-31) and rows for ①手段, ②対象, ③意図. Includes metrics like '県西地域総合振興協議会要望件数' and '桜川市が要望した件数'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing cost breakdown by source (国庫支出金, 県支出金, etc.) and personnel costs (人件費) for 27-31 years.

Table showing 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円) with a total of 36 for both.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns for 29, 30, and 31 years of implementation content. Includes a list of activities like '主要事業', '市長マニフェスト', etc.

事務事業名	県西地域総合振興協議会参画事業	事務事業No.	10602000280	所属課	企画課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
 昭和52年4月に県西地域の振興を推進するため、県西地区の市町村長や市議会議長・担当部課長による委員で組織された。平成の合併により、構成市町村が激減し、また、県の組織改革の見直しに伴い協議会事務局の見直しが必要となった。平成21年度茨城県組織の再編による総合事務所企画振興室の廃止に伴い、筑西市企画課が事務局となり事業を縮小し運営し、その後、平成22年度からは古河市長が会長となっている。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？
 意見や要望はない

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う	県への要望が協議会の事業の中心となっているが、県からの回答も十分に得られない状況であり、協議会の活動内容の変更を事務局及び参画自治体に提案する時期になっていると思います。旧態型の提案が事務局から提案されているところであり、時代に合った協議会運営を提案する必要がある。
---------	---

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	総合計画後期基本計画「広域行政の推進」を実現するものである。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	県西地域の振興を図ることを目的とした協議会への参画事務であり、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	協議会の活動内容を変更することで可能である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	広域的な課題の解決に影響がでる可能性がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	特になし
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	負担金の見直しを行うことで削減の余地はある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	受益者負担を求める性格の事業ではない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	活動がマンネリ化していることは、協議会事務局も感じているようで新たな方が提案されている。 当市の考え方と周辺自治体で意見の相違もあるようなのでしっかりと協議をする必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
県への要望が協議会の事業の中心となっているが、県からの回答も十分に得られない状況であり、協議会の活動内容の変更を事務局及び参画自治体に提案する時期になっていると思います。旧態型の提案が事務局から提案されているところであり、時代に合った協議会運営を提案する必要がある。	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>